

令和4年度 第2学期 始業式

島根県立安来高校 校長 柳樂 眞悟

2学期が始まりました。全国的に異常気象が続き、各地で災害が発生する中、皆さんが元気な姿で登校できたことをまずは喜びたいと思います。

1学期の終業式では、これからの時代を生き抜くためのWILLを探しに、行動を起こしてみてください。というお話をしました。どんな行動を起こせたいでしょうか。コロナ感染拡大は続いているものの今年の夏は行動制限のない夏でした。部活動、オープンキャンパス、地域活動など、この2年間の夏とは違い、動こうと思えば様々な事ができたのではないのでしょうか。

その中で私が印象に残っていることを一つ。この夏も昨年に引き続き3年生の数学講座で長崎の菰田先生にお越しいただき授業をしてもらいました。受講した3年生、いかがだったでしょうか。その際、3人の先生が長崎しかも離島の壱岐・対馬から菰田先生の授業から学ぶために来校されてましたね。3人ともいろんなところでの勉強会でお会いしたことも有り私も顔見知りの先生方です。その先生方は自分の指導力を向上させるため自ら足を運んで学ぼうとしておられます。その行動力には頭が下がります。私も2度ほど下関まで菰田先生の授業を見に行ったことがあります。自ら動いて取りに行く学びは、居ながらにして学ぶより得るものが多いように感じます。是非とも皆さんも自ら動いて多くのことを感じて欲しいと思います。そういった意味でインターハイや全国総文祭に参加した皆さんは動いて学んだこともたくさんあることと思います。ぜひそれを周りの友人と共有し安来高校の学びとして皆で成長していく糧として欲しいと思います。

さて2学期は学園祭・文化祭・ロードレースなど行事が多く、学びの多い学期です。特に開催まで10日あまりとなった蒼輝祭、今年のテーマは、真舞流超誇（マーブルチョコ）～真剣に舞い、涙を流し、超誇らしい安高生であれ～です。誰もが傍観者になることなく、当事者として皆で協力して、誇らしい蒼輝祭を作り上げて欲しいと思います。

コロナウイルス感染症も落ち着きを見せません。2学期は様々な学校行事があったり3年生は就職・進学試験が始まったり実りの学期です。その様々な教育活動が当たり前に行えるためには、今一度、日頃の手指消毒や換気、黙食などできるべき対策はみんなで意識して取り組み、落ち着いた教育活動が展開できるよう、各自がそれぞれのできることを確実に実行する行動こそが求められています。責任ある行動をお願いします。

1年の中で、最も長く忙しい2学期が始まります。忙しさに流されず、目標をしっかり見据えて、「きびしく 高く 美しく」実り多い2学期としてください。